

「音楽で暮らしに感動を届ける」ザ・シンフォニーホールの情報誌

Vol.41

2020 9月-11月

2020 9/10 発行

TAKE FREE

Close Up

オールスター 紅白オペラ歌合戦 2020

富田一樹 バッハ名曲決定版 2021

ほか



The Symphony Hall

プレミアムコンサート Vol.4

マラー 第5番

—日本の日の出を願う—



Sinfonia

シンフォニア

Adagio



▲荒田祐子(メゾソプラノ)
サンニサーンズ:「サムソンとデリラ」より
「あなたの声に私の心は開く」



▲泉 貴子(ソプラノ)
ヴェルディ:「運命の力」より
「神よ平和を与えたまえ」



▲木澤佐江子(ソプラノ)
ドニゼッティ:「ランメルモールのルチア」より
「あたりは沈黙に閉ざされ」



▲斉藤言子(ソプラノ)
チレア:「アドリアーナ・ルクヴール」より
「私は芸術のしもべです」



▲樽谷昌子(ソプラノ)
レオンカヴァッロ:「道化師」より
「鳥の歌」



▲並河寿美(ソプラノ)
ヴェルディ:「椿姫」より
「ああ そはかの人か
～花から花へ～」



▲古田昌子(メゾソプラノ)
ビゼー:「カルメン」より
「ハバネラ」



▲水野智絵(ソプラノ)
ヴェルディ:「仮面舞踏会」より
「ここは恐ろしい場所
…あの草を踏み取って」



▲湯浅 契(ソプラノ)
プッチーニ:「蝶々夫人」より
「ある晴れた日に」

※五十音順

紅

オールスター



—日本の日の出を願う—

関西オペラ界のスターたちが真剣勝負!
贅沢で華やかな夢の祭典で
希望に満ちた新年を祈る



紅組司会 八塚彩美
(朝日放送テレビアナウンサー)



白組司会 堀江政生
(朝日放送テレビアナウンサー)



指揮 栗辻 聡



管弦楽 大阪交響楽団

この対決を聴かずして、
年は越せない!!

2020.12/27(日) 3:00PM

S 8,800円 A 7,700円 (税込)

[お問合せ] ザ・シンフォニー チケットセンター
06-6453-2333

[主催] ザ・シンフォニーホール[協力]公益社団法人
大阪交響楽団/公益社団法人関西二期会/特定
非営利活動法人関西芸術振興会・関西歌劇団/堺
シティオペラ一般社団法人

先行予約:9/17(木) 一般発売:9/20(日)

つづろを歌うテノールの小餅谷哲男は、独特の色気と豊かな表現力で凄みのあるカニオを演じてくれるだろう。高く澄み切った歌声で、聴く人の心まで清らかにさせる清原邦仁は「アルルの女」より「フェデリコの嘆き」で哀切に満ちた恋心を届ける。「トゥーランドット」より「誰も寝てはならぬ」を歌う谷浩一郎は、演劇性に長けた表現力と甘いマスクで客席を惹きつけるはずだ。

ザ・シンフォニーホールでは、全ての公演で感染症対策を行っているが、本公演では更に強化した、歌の公演専用の飛沫防止策もとるので安心して楽しめそうだ。こういう時勢だからこそ、心の琴線に触れる生の舞台上に足を運びたい。ザ・シンフォニーホールでしか味わえない贅沢で華やかな舞台で年の瀬を過ごし、来年を楽しく迎えませんか。

(文 金子真由)

白

オペラ

歌合戦

2020

名だたる歌手が集結！
活力みなぎる本気の歌声対決
ザ・シンフォニーホールの舞台上、オーケストラとオペラ歌手が一堂に会し、名曲を次々と披露するオペラの歌合戦。今年で3回目を迎え、公演名を「紅白オペラ歌合戦」に戻し、ザ・シンフォニーホールの風物詩として根付きはじめた。副題に「—日本の日の出を願う—」と冠し、2021年が希望に満ちた1年となることを願って華やかなステージをお届けする。

交響楽団のハーモニーを味わえる豪華さにあるだろう。指揮者と作り上げる即興的なやりとりの中、普段のオペラの舞台やオーケストラの演奏会と違う、出演者たちの一面を垣間見ることが出来る。
ドラマティックな名アリア揃い
紅組の歌姫に魅了される
昨年の歌合戦を観た時、歌声や表情を通して、一人のオペラ歌手の人生に触れるような深い部分が伝わってきたことがあった。反対に、ホール中いつでも響き渡る活力みなぎる歌声は、一気に観客を笑顔にして盛り上げた。人と人との繋がりを感じさせる一場面は、今も忘れられず、紅白オペラ歌合戦の醍醐味と言えるだろう。このように観客の心を「グイッ」と掴む名オペラ歌手たち。関西二期会『関西歌劇団』『堺シティオペラ』から、紅組、白組に各9名が登場。ピックアップして魅力をご紹介したい。

演じることに表現力が増す木澤佐江子は、「ランメルモールのルチア」より「あたりは沈黙に閉ざされ」で悲恋の物語へ誘う。斉藤言子が歌う「アドリアーナ・ルクヴール」より「私は芸術のしもべです」は、祈りにも似た心地にさせてくれるだろう。歌姫という言葉がピッタリと当てはまる並河寿美は、「椿姫」より「ああそはかの人か」花から花へ、誰もが魅了される美しく情熱的なヴィオレッタを。今年、関西歌劇団の理事長に就任した湯浅契は「蝶々夫人」より「ある晴れた日に」を歌い、物語が迫ってくるようなオペラのワンシーンを届けてくれるだろう。

迫力と色気で圧倒する白組
年の瀬は関西随一の夢の祭典へ

白組も人気オペラ歌手が揃った。周囲を明るく照らす太陽のようなキャラクターで人気を集めるバリトンの西尾岳史は、「カルメン」より「闘牛士の歌」を披露。「道化師」より「衣装を

白

▲大谷圭介(バリトン)
ヴェルディ:「ドン・カルロ」より
「私です、カルロ様
～最後の時が来た」



▲清原邦仁(テノール)
ビゼー:「アルルの女」より
「フェデリコの嘆き」



▲小餅谷哲男(テノール)
レオンカヴァッロ:「道化師」より
「衣装をつける」



▲田中由也(バリトン)
ヴェルディ:「リコレット」より
「悪魔め鬼め」



▲谷 浩一郎(テノール)
プッチーニ:「トゥーランドット」より
「誰も寝てはならぬ」



▲西尾岳史(バリトン)
ビゼー:「カルメン」より
「闘牛士の歌」



▲馬場清孝(テノール)
ヴェルディ:「リコレット」より
「あの娘の涙が見えるようだ」



▲松澤政也(バリトン)
ヴェルディ:「マクベス」より
「哀れみも誉れも愛も」



▲松原 友(テノール)
ドニゼッティ:「愛の妙薬」より
「人知れぬ涙」



※五十音順

素晴らしい音楽で、
人々の心に
安寧のひと時を届けたい

に寄り添い、時代の流れの中で、常に人の心を癒し、時には勇気付け、心の平穩、情操教育、教養の向上に寄与してきたことは論を俟たない。歴史の中で幾度の危機にさらされながらも心の絆を継承し続けた芸術に今、できることはやはり、素晴らしい音楽で人々の心に安寧のひと時を届けること。このことに尽きるので

はないか。
ザ・シンフォニーホールは、その役割を担おうと、このコンサートを2021年の1月にお贈りする。「平和、平穩、健康」という何にも代えがたい人類共通の願いを込めて――。
**巨匠マーラーの音楽の代名詞
ドラマティックに展開する傑作**
そんな願いを音に託して皆様



指揮
飯森範親



ピアノ
関本昌平

にお届けするのが、巨匠マーラーの傑作として名高い交響曲第5番。失われた尊い命への追悼がトランペットのソロから始まる「葬送行進曲」、生きとし生ける者へ、命の活力と未来を担い新しい歴史を刻む勇気が示された「アダージェット」。そして最後は華々しいファンファーレで締め括られる全5楽章構成で書かれている。この、暗から、明の展開を、大編成の管弦楽によってドラマティックに楽しめるのが大人気の理由と言えるだろう。また、あまりにも静謐で甘美な旋律で知られる第4楽章のアダージェットは、マーラーが作曲の前年に結婚した才媛アルマとの生

活で感じていた幸福の絶頂の象徴。後にルキノ・ヴィスコンティ監督の名画「ベニスに死す」に使われたことで、現在彼の音楽の代名詞にもなっている。
リストの名曲を関本昌平が豊かな詩情で魅せる
演奏は日本センチュリー交響楽団。指揮を務めるのは、首席指揮者として7年目のシーズンを迎える飯森範親で、今回も変幻自在にオーケストラを操りながら、プレイヤー個々のポテンシャルを最大限に引き出してくれるに違いない。
コンサートの前半にはドラマティックな疾走感にあふれたリストのハンガリー狂詩曲第2番の管弦楽版(原曲はピアノ曲)が演奏される。これに続くのが、同じ作曲家の手によるピアノ協奏曲第1番で、ソリストに名手・関本昌平を迎える。大阪出身の彼は、弱冠20歳で難関シヨパン国際コンクールで第4位入賞を果たし、現在も着々と進化し続けていることは周知の通り。本作はピアノと管弦楽が一体となった交響詩のような作風なので、彼の持ち味である鋭い知性と豊かな詩情をたっぷり味わいたい。
飯森範親、関本昌平、日本センチュリー交響楽団。国内を代表する名手がこのザ・シンフォニー

[指揮]飯森範親 [ピアノ]関本昌平
[管弦楽]日本センチュリー交響楽団

リスト:ハンガリー狂詩曲 第2番 嬰ハ短調 (オーケストラ版) / リスト:ピアノ協奏曲 第1番 変ホ長調 / マーラー:交響曲 第5番 嬰ハ短調

2021.1/16(土) 2:00PM
S 7,700円 A 6,600円 B 5,500円 (税込)
[お問合せ]ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333
[主催]ザ・シンフォニーホール
[先行予約]9/17(木) 一般発売:9/20(日)

当初は7月にチケット発売を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み発売を延期させて頂きました。お客様にはご迷惑をおかけしましたことを、心よりお詫言申し上げます。

The Symphony Hall
プレミアムコンサート
Vol.4

マーラー 第5番

—日本の日の出を願う—

未曾有の危機からの夜明けを高らかに謳う

心の絆を継承し続けた芸術に
今、できること

「日本の日の出を願う」コンサート!!
2020年1月に未知のウイルスの発生を知らせるニュースの第一報。その時この未曾有の危機を予感した人は少ないのではないだろうか?その後、日々感染者が増え、見えない敵「新型コロナウイルス」との闘いに明け暮れる毎日が続き、人の命を奪い、又、経済を蝕み、人の心にも大きな影響を与え続けている。クラシック音楽界も大きな影響を受ける中、今、私たちにできることは何なのか?を改めて自問する日々が続いている。

芸術、文化は古来より人の心
ホールに集い、「日本の日の出」を心から祈りながら、今回のコンサートは開催される。その際は、政府発出のガイドラインを真摯に受け止め、徹底した感染予防対策に留意しながら、引き続き入場者を制限して行われることだろう。それでももちろん聴き手の皆様には、マスクを着けて周囲に気を配りながらの鑑賞をお願いすることになるが、その制約の分、音を感じる耳と心は何倍にも研ぎ澄まされるはず。そんな一期一会のひと時は是非ザ・シンフォニーホールで味わっていただきたい。

ザ・シンフォニーホールが贈る
プレミアムコンサート。
2021年の幕開けは指揮 飯森範親と
日本センチュリー交響楽団が、
マーラーの交響曲 第5番で
暗闇からの力強い光を見せつける。

BEST OF BEETHOVEN

ベートーヴェン生誕250周年 日本センチュリー交響楽団×ザ・シンフォニーホール

BB Vol.3 「運命」

feat.BB Vol.3



チェロ:横坂 源



ヴァイオリン:郷古 廉



ピアノ:関本昌平

今が旬の、瑞々しい感性のぶつかり合いを、ぜひ体感してみたい。飯森範親指揮の日本センチュリー交響楽団とザ・シンフォニーホールがおくる、ベートーヴェン生誕250周年記念プロジェクト《ベスト オブ ベートーヴェン》の第3回。ピアノの関本昌平、ヴァイオリンの郷古廉、チェロの横坂源と、最難関の国際コンクールで輝かしい実績を重ね、国内外の檜舞台で活躍する3人の俊英が一堂に会し、隠れた佳品とも称される「三重協奏曲」を披露する。

シヨパン国際ピアノ・コンクールで4位となった関本。スイスで開かれた、ティボール・ヴァルガ・シオン国際ヴァイオリン・コンクールを制した郷古廉。そして、ミュンヘン国際音楽コンクール・チェロ部門で第2位を獲得した横坂源。リサイタルやオーケストラ共演のソリストとして、ここザ・シンフォニーホールでも数々の快演を重ね、互いにデュオで共演する経験の多い3人だが、揃って「競演」の機会となると、非常に珍しいという。

ピアノとヴァイオリン、チェロと管弦楽のための「三重協奏曲」は、楽聖が33歳だった1803年から翌年にかけて作曲された。重厚な品格と繊細な可憐さの両方を兼ね備えた、第1楽章アレグロ。管弦楽をバックに、3人のソリストが親密に対話する第2楽章ラルゴ。そして、わくわくするような躍動感のもと、華麗な名人芸が繰り広げられる「ポランド風ロンド」の終楽章。18世紀に流行した「サンフォニー・コンセルタント(協奏交響曲)」のスタイルに、ベートーヴェン独自の美学が巧みに落とし込まれている。

このような傑作ながら、実は演奏会で体験できる機会は、意外なほどに少ない。その要因として、卓越した実力を持ち、しかも相性の良いソリストを3人も揃えるのが難しい、と言ったことが一番に挙げられよう。その意味では、ザ・シンフォニーホールの響きを知り尽くした、いま望みうる最高の「旬」の顔ぶれによる今回のステージに触れられる聴衆は、まさに幸運。俊英たちは、ある時は共に謳い、ある時は拮抗して、快い緊張感と愉悅に満ちた音楽を聴かせてくれる。

**Vol.1 横山幸雄、Vol.2 竹澤恭子に続く
大好評シリーズ第3弾は若き俊英たちの「競演」**

**最高の顔ぶれによる
「隠れた佳品」**

BB Vol.3「運命」

[ピアノ]関本昌平 [ヴァイオリン]郷古 廉 [チェロ]横坂 源

[管弦楽]日本センチュリー交響楽団

ヴァイオリン、チェロ、ピアノのための三重協奏曲 八長調 op.56 / 交響曲 第5番 八短調「運命」 op.67

2021.2/21(日) 2:00PM

S 6,600円 A 5,500円 B 4,400円 (税込)

[お問合せ]センチュリーチケットサービス 06-6848-3311

[主催]公益財団法人日本センチュリー交響楽団/ザ・シンフォニーホール

先行予約:9/24(木) 一般発売:9/27(日)

さらに、ステージ後半で披露されるのは、楽聖ベートーヴェンの代名詞とも言える「交響曲第5番《運命》」。まず冒頭で奏され、曲中で執拗に繰り返される有名な主題について、作曲家は「運命はこう扉を叩く」と説明したとも。人生の試練と、最終的に到達する希望の光を投影した、高い精神性を湛える「傑作中の傑作」。喜びとエンターテインメント性あふれる「三重協奏曲」という、対照的な作品と併せて聴けば、また新鮮な驚きをもたらされると同時に、稀代の作曲家が備えた多面性も、実感することが出来るだろう。

(文 笹田和人)

The Symphony Hall プロジェクションマッピング・ コンサートの秘密



ザ・シンフォニーホールでは、1年を通して、プロジェクションマッピングを使用した様々なコンサートを行っています。これからコンサートを楽しんでくださるお客様へ、ザ・シンフォニーホール プロジェクションマッピングの秘密を少しだけお教えします！

コンピュータで作成したCGをプロジェクターで立体物に投影し、新たな空間演出をお届けするプロジェクションマッピング(以下PM)。クラシックに馴染みのない方にも、視覚と音を融合させることで、作品をわかりやすく楽しんでもほしい。そんな想いで、ザ・シンフォニーホールは、2014年から公演にPMを導入しました。

以来、オーケストラやパイプオルガンなどのコラボレーションが数々行われてきましたが、使用しているプロジェクターは4台。このように複数台を使用することで、あらゆる方向からCG投影し、より大がかりかつ高性能なPMを実現しているのです。

例えば、パイプオルガンの輪郭を縁取るようにカラフルな光が流れていたり、パイプ部分が3Dのように浮かび上がるように見えたりする演出。いつもは厳かな

パイプオルガンがPMのコンサートの日だけは変幻自在な表情を見せるのが面白いところ。他にも、光の粒があふれ出したり、雪が降ったり、火花が上がったり、鳥が飛び立ったり…。公演内容に合わせて作られた映像は本当に多種多様で、皆様に毎回新鮮な感動を巻き起こしてくれていると思います。

私たちのPMを導入時から担当してくださっているARTCOMPLEXの城戸遥さんは、その見どころをこう話します。

「映像を作っているスタッフは、実は元舞台役者。楽曲にインスパイアされて作る映像一つひとつにこだわり抜いていて、舞台経験を活かしながら、演出面でお客様にいかにも魅せるかを大切にしています。特に見どころなのは、映像が一瞬にして切り替わり、お客様の目の前に壮大な景色が広がる場面だと思います」

そんな事前に作り上げたこだわりの映像は、生演奏とも完璧にシンクロしていますが、どのように操作しているのでしょうか。

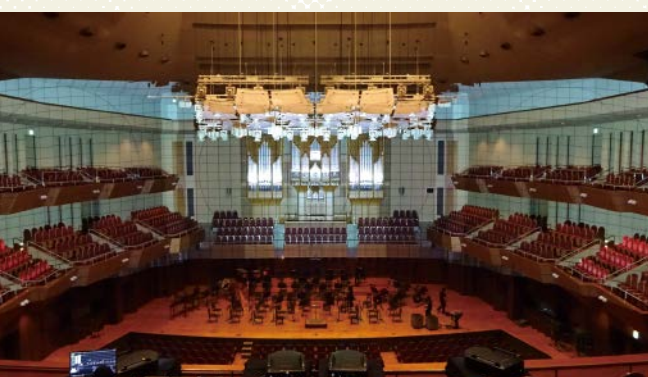
「各楽曲のタイミングに合わせてPMを綿密に作って準備していますが、それをそのまま流しているわけではありません。やはり本番では、生演奏ならではの間やスピードの変化が生じることもあり

ますからね。そこはオペレーターの腕の見せどころで、瞬時の判断で映像を切り替えるようにしています」

最後に、ザ・シンフォニーホールのプロジェクションマッピングならではの魅力を教えてくれました。

「テーマに沿った映像だけでなく、もっとダイナミックに、もっと女性らしさを出して」といった演奏者をフューチャーしたものも作成していることですね。演奏者や技術者だけでなく、こうしたホールの企画担当者の声も反映させながら、沢山の人の想いが重なり合って、毎回一期一会のPM公演が生まれているのです」

プロジェクションマッピングコンサートの準備の様子。2階席の前方に4台のプロジェクターが設置されている。



Sinfonia
Special 2

The Symphony Hall 大人気「超絶」シリーズ!



©Mari Kusakari

オルガニスト 大木麻理

プロジェクションマッピング×パイプオルガン
大人気「超絶コンサート」
“スゴすぎる!”3ヶ月連続開催!

光と音の融合が生み出す壮大で煌びやかな空間。ザ・シンフォニーホールの大人気シリーズが、11、12、1月と3ヶ月に渡って連続で開催される!色彩豊かでファンタジックな演出と音色。さらにどの公演も4歳以上から入場可能なので、子どもも大人も楽しめる!それぞれに意匠を凝らした各公演の見どころと聴きどころをご紹介します!!

文 渡辺謙太郎

プロジェクションマッピング×パイプオルガン

新 超絶の オペラ座の怪人

まるでミュージカルのステージにいるような、ゴージャスな空間



2020

11/6

(金)

今年の
“芸術の秋”は
コレ!

[オルガン]大木麻理

ミュージカル『オペラ座の怪人』★/ミュージカル『レ・ミゼラブル』★/ミュージカル『キャッツ』★/映画『天使にラブ・ソングを』/映画『サウンド・オブ・ミュージック』/映画『オズの魔法使い』より『over the rainbow』/映画『LA LA LAND』★/映画『美女と野獣』★
★プロジェクションマッピング付き

2020.11/6(金) 7:00PM

※休憩なし。約60分間のコンサートです。

※4歳以上のお子様からご入場可能です。

全席指定 2,750円 (税込)

[お問合せ]ザ・シンフォニー チケットセンター

06-6453-2333

[主催]ザ・シンフォニーホール

発売中

誰もが耳にしたことがある名舞台音楽の数々に酔いしれる夜!
感動のクライマックスをお見逃しなく!

ザ・シンフォニーホールは、このシリーズのファンからかねてより再演を希望する声が多かった「超絶のオペラ座の怪人」を11月6日に、2年3ヶ月ぶりに開催する。しかも今回は全曲のアレンジを一新してお届けするので必聴だ。オルガニストは、第3回ブクステフェーデ国際オルガンコンクールで日本人初優勝を飾った大木麻理。さらには打楽器メンバーも加わるが、彼女は他ジャンルとの共演経験も豊富なので、実力は折り紙つきと言える。プログラムに並ぶのは、華々しいプロジェクションマッピングでも人気が高い「オペラ座の怪人」、「レ・ミゼラブル」をはじめ、「キャッツ」、「天使にラブ・ソングを」、「美女と野獣」など、おなじみの名舞台音楽の数々を繰り広げていく。そして後半クライマックスには、思わず感嘆の吐息がこぼれそうになるほどの、心にパワーを与えてくれるメロディーと美しい映像の相乗効果に期待してほしい。今回初披露の編曲と刺激的な映像が織りなす、新たなミュージカルの物語世界を存分に堪能しよう!

プロジェクションマッピング×パイプオルガン

超絶の クリスマス・キャロル

超絶シリーズ最新作! 聖夜に光と音楽の魔法がかかる



2020
12/21
(月)

昼夜2回公演!
クリスマスの
思い出に!

[オルガン]大木麻理

ジョーンズ:「もろびとこぞりて」による変奏曲 ★/フレンチ
のキャロル(He is born, the Divine Christ Child, 荒
野の果てに)/ディズニー ジュエリー ボックス ★(星に願
い、ミッキー・マウス・マーチ、いつか王子様が、スーパーカ
リフラジスティックエクスピアリド・シャス、アンダー・ザ・
シー、ホール・ニュー・ワールド、レット・イット・ゴー)/レーガー:
きよしこの夜 ★/クリスマス・メドレー ★(神の御子は今宵
しも、ホワイト・クリスマス、赤鼻のトナカイ、サンタクロース
がやって来た)/バツハ:主よ人の望みの喜びよ ほか ★プロ
ジェクションマッピング付き

2020.12/21(月) 2:00PM/7:00PM

※休憩なし。約60分間のコンサートです。

※4歳以上のお子様からご入場可能です。

全席指定 各3,000円(税込)

[お問合せ]ザ・シンフォニー チケットセンター

06-6453-2333

[主催]ザ・シンフォニーホール

先行予約:9/17(木) 一般発売:9/20(日)

ひと足早いクリスマス・プレゼントにぴったり。
心温まるプログラムを大切な人と&ファミリーで楽しもう!

続く第2弾は、12月21日に昼夜2回に
渡り開催される「超絶のクリスマス・キャ
ロル」。このシリーズの新企画として登場
し、美しく、ホッと心が温まるプログラムの
数々をお贈りする。

「星に願いを」[ホール・ニュー・ワールド]
「レット・イット・ゴー」など、世界中の映画 &
音楽ファンに愛されているディズニーの名
曲を集めたメドレーに加えて、モーツアル
ト「きらきら星変奏曲」、バツハの「主よ人の
望みの喜びよ」など、一瞬も聞き逃したくな
い世界各地のクリスマス・キャロルが繰り
広げられる。

ダイナミックさと繊細さを併せ持った
大木の音楽性が存分に発揮される、バラエ
ティ豊かなセレクトになっており、映像も
それに合わせて華麗に千変万化していく。
大人にもお子様にも、ひと足早いクリスマ
ス・プレゼントにこの上なくふさわしい公
演となるので、大切な人やファミリーでは
非足を運んでいただきたい!

プロジェクションマッピング×パイプオルガン

新 超絶の スター・ウォーズ

スリル満点!大ヒット映画の世界を体感できるコンサート



2021
1/30
(土)

年初を
爽快に彩る
昼夜2回公演!

[オルガン]大木麻理

「インディ・ジョーンズ」より レイダース・マーチ/
「ハリー・ポッター」より メドレー★ ~プロローグ -
ハリーの不思議な世界- ヘドウィグのテーマ~/
「E.T.」より フライング・テーマ/「ジョーズ」より メ
イン・タイトル/「ジュラシック・パーク」より テーマ★
/「スター・ウォーズ」より メドレー ★~メイン・タイ
トル - 帝国のマーチ - レイア姫のテーマ・王座の間
とフィナーレ~「バック・トゥ・ザ・フューチャー」より
テーマ★/「パイレーツ・オブ・カリビアン」より メド
レー★ ★プロジェクションマッピング付き

2021.1/30(土) 2:00PM/7:00PM

※休憩なし。約60分間のコンサートです。

※4歳以上のお子様からご入場可能です。

全席指定 各3,000円(税込)

[お問合せ]ザ・シンフォニー チケットセンター

06-6453-2333

[主催]ザ・シンフォニーホール

先行予約:9/17(木) 一般発売:9/20(日)

元祖「超絶」コンサートが全編リニューアルして帰ってくる!
ジョン・ウィリアムズの映画音楽をパイプオルガンで楽しむ

そして年明けの1月30日の昼夜2回公
演では、2016年のスタートから現在ま
で大好評を博し、完売を記録し続けている
「超絶のスター・ウォーズ」がリニューアル
して帰ってくる!全曲を新たな編曲で発
表するというから、すでに鑑賞済みの方に
も是非見ていただきたい。

プログラムの中心を担うのは、映画音楽
の巨匠で88歳になった今も精力的に作曲
活動が続けているジョン・ウィリアムズが
残した珠玉の名曲の数々。「E.T.」の流麗
なフライング・テーマ。「ジョーズ」のおど
ろろしいメイン・タイトル。「バック・
トゥ・ザ・フューチャー」の胸が高鳴るテー
マ。愛らしく幻想的な「ハリー・ポッター」
のメドレー。そして、勇壮で堂々たる「ス
ター・ウォーズ」ジュラシック・パーク」の
テーマなど、誰もが知っている大人気映
画の音楽を届けていく。

めくるめくスリリングな音と映像を体
感できる空間は、まるで新たなアトラク
ションのよう。五感を隅々まで駆使して
楽しもう!!

川井郁子

シンフォニック バレンタインコンサート ～大人の情熱～

川井は、絶大な人気を誇る稀有なヴァイオリニストだ。世界的マエストロのチョン・ミンファンや「三大テノール」のひとりとして一世風靡したホセ・カレーラスらクラシック音楽の巨匠をはじめ、バレエの熊川哲也やスケートの荒川静香らとの共演など、ジャンル

世界中のサウンドを融合し豪華な共演者と創る音楽劇場
「シンフォニック バレンタインコンサート」は、バレンタインのシーズンにザ・シンフォニーホールとヴァイオリニストの川井郁子が贈る恒例の企画だ。毎年テーマを変え、クラシック音楽を中心に様々なジャンルの音楽を披露し、新たな魅力とともに幅広いファンに親しまれている。

にとられない活動を展開している。また、大阪芸術大学教授も務めるなど、関西にゆかりの深いアーティストだ。
「ヴァイオリンの様々な魅力を知っていたきたい」という川井のプログラムは、演奏者にとどまらず、作曲家、音楽監督などにも取り組んできた彼女だからこそできる、多彩な内容だ。今回のテーマは「大人の情熱」。練り上げられたそのプログラムには、パッションあふれる作品とともに、勇気や感謝をつづった曲や祈りの込められた音楽も取り入れられている。

バンドネオンの持ち味が存分に活かされた「リベルタンゴ」や「ブエノスアイレスの冬」といったピアノソラ作品をはじめ、ライオネル・リッチーの代表作「エンドレス・ラブ」、ミュージカル「エビータ」で最も有名な「アルゼンチンよ、泣かないで」、クラシック音楽ではフランス人作曲家ビゼーのオペラ《真珠採り》のなかのアリアをもとに編まれた「真珠採りのタンゴ」、そしてロマの郷愁あふれるモンティ「チャルダッシュ」など、どれも聴いたことのある親しみ深いメロディを、川井は艶やかに歌い上げてゆく。

絢爛豪華な共演者も、彼女のこのコンサートの楽しみだ。今回は、多方面にわたり活躍するピアノの林正樹や、小松亮太門下で国際的バンドネオン奏者の北村聡、ハンドドラムの名手としても知

られるパーカッションのクリストファー・ハーディが登場する。川井は、これまで彼らと何度も共演を重ねてきた。ステージ上で繰りひろげられる彼らのスリリングなセッションも、大きな聴きどころだ。そして弦楽合奏団にはU.F.室内アンサンブルを迎え、彩り豊かなラインナップに華を添える。ミュージカルやポップス、タンゴ、ロマの音楽など世界中の様々なサウンドや芸術を融合し、創り上げる川井の音楽劇場は、大人の色香漂う熱いパッションに満ちている。大切な人とじっくりと聴いていただきたい。

(文 道下京子)

大人の色香漂う 情熱の音楽



【ヴァイオリン】川井郁子 【ピアノ】林 正樹
【バンドネオン】北村 聡 【パーカッション】クリストファー・ハーディ
【弦楽合奏団】U.F. 室内アンサンブル

ライオネル・リッチー：「エンドレス・ラブ」/ ピアソラ：「リベルタンゴ」/ エンリコ・マシアス：「恋心」/ ビゼー：「真珠採りのタンゴ」/ ピアソラ：「ブエノスアイレスの冬」/ ピアソラ：「天使のミロンガ」/ モンティ：「チャルダッシュ」/ ユベール・ジロー：「パリの空の下」/ ロイド・ウェバー：「アルゼンチンよ泣かないで」

2021.2/7(日) 2:00PM
S 6,050円 A 4,950円 (税込)
【お問合せ】ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333
【主催】アイケー・オフィス/ザ・シンフォニーホール
先行予約:9/17(木) 一般発売:9/20(日)

©Yoshinobu Fukaya

クリスマス アヴェ・マリア

～世界を繋ぐアヴェ・マリア～

砂川涼子 ソプラノ・リサイタル

極上のソプラノで聴く
聖夜にささげる祈り

C h r i s t m a s A v e M a r i a

世界の「アヴェ・マリア」聴き比べ
祈りの世界に心癒される
カトリックにおいて、聖母マリアに神へのとりなしをねがう祈りの言葉「アヴェ・マリア」。ラテン語によるこの祈りの歌詞に音楽をつけた名曲は、歴史上、枚挙にいとまがない。12月19日に開催のコンサート「クリスマス アヴェ・マリア」で世界を繋ぐアヴェ・マリアが、さまざまな「アヴェ・マリア」の奥深い世界を表現してくれる。ピアノは、オペラ歌手との共演の第一人者であり、多くの名歌手から絶大な信頼を得ている河原忠之である。

は、一年でもっとも敬虔な気分になったときではないだろうか。そんな時にまさにぴったりの演奏会となる。
プログラムには、カッチーニ（実際はウラディーミール・ヴァヴィロフ作）、バッハ「グノー」、モーツァルトから、フォーレ、サン＝サーンス、トスティまで、なんと全9曲の「アヴェ・マリア」がずらりと並んだ。どの曲も聖母マリアへの神聖な思いを込められている。バッハ「グノー」はとりわけ有名だが、トスティ、サン＝サーンスなどは珍しいレパートリーでありながらも、味わいのある清らかな調べが特徴で、心を打つ作品ばかりだ。

もブッチーニの「ラ・ボエーム」より「私の名はミミ」やヴェルディの「オテロ」より「アヴェ・マリア」そしてヘンデルの「セルセ」より「オンブラ・マイ・フ」といった名アリアを聞くことができる。とりわけ「オテロ」のアリアは、オペラ終盤で悲劇のヒロインのデズデモナが、切々と歌いあげる美しい曲だけに、砂川の迫真の歌唱が今から待ち遠しい。誰もが親しんできたポピュラー作品「星に願いを」(「ピノキオ」より)、「いつか王子様が」(「白雪姫」より)などもプログラムに入っている。幅広い層が楽しめる演奏会になる。
新しい年を迎える節目の月である12月。砂川の清らかな美声による「アヴェ・マリア」を堪能し、心安らかに、そしてすがすがしい気分です2021年を迎えたい。

(文 伊藤制子)

【ソプラノ】砂川涼子
【ピアノ】河原忠之

カッチーニ：「アヴェ・マリア」/ モーツァルト：「アヴェ・マリア」主をほめたたえよ「証聖者の荘厳な晩課 KV339」より、アヴェ・ヴェルム・コルプス／トスティ：「アヴェ・マリア」/ バッハ：「グノー」/ フォーレ：「アヴェ・マリア」/ ビゼー：「アヴェ・マリア」/ ブライスマン：「アヴェ・マリア」/ ビゼー：「アヴェ・マリア」/ サン＝サーンス：「アヴェ・マリア」/ アルカデル：「アヴェ・マリア」/ フランク：「天使のパン／ヘンデル：「オンブラ・マイ・フ」/ 「セルセ」より、シオンの娘よ 大いに喜び「メサイア」より／ブッチーニ：「私の名はミミ」/ 「ラ・ボエーム」より／ヴェルディ：「アヴェ・マリア」/ 「オテロ」より／さやかに星はきらめき／ホワイト・クリスマス／きよしこの夜／星に願いを「ピノキオ」より／いつか王子様が「白雪姫」より

2020.12/19(土) 7:00PM
全席指定 4,400円 (税込)
【お問合せ】ザ・シンフォニー チケットセンター
06-6453-2333
【主催】ザ・シンフォニーホール

美しき日本のうた

桜

2021.3/20(土)開催

ソプラノ:小林沙羅

色めく季節の訪れに、
きらりと輝くうた

©Nippon Columbia

大阪城公園や造幣局構内の通り抜け通路、奈良の吉野、そして京都の寺社仏閣。3月に入ると、日本では誰もが「桜」の話題を口にし始め、それを祝するものだ。大阪をはじめ、関西の桜の名所は数知れないが、花の便りが待ち遠しくなる頃に「美しき日本のうた『桜』」が開催される。今をときめくソプラノの名花、小林沙羅がシリーズ初登場する。ピアノは息のあった共演で知られる河野紘子。

小林は透明感のある美声と可憐な立ち姿で幅広いファンをもつ歌手だが、近年は大阪芸大准教授を務めており、関西にもゆかりのあるアーティストである。すでにザ・シンフォニーホールにもたびたび出演しており、大阪のファン

桜は様々な日本の歌において
欠かすことのできない存在

美しき日本のうた

今回のテーマは春ならではの「桜」である。日本の詩歌で「花」とは桜を指しており、桜は様々な日本の歌において欠かすことのできない存在である。美しく咲き誇りながらもはかなく散っていく桜に、私たちは一抹の哀愁を感じ、散りゆくからこそ、その美しさを愛でようとするのが日本の美学だ。今回は桜を軸に、誰もが知る名曲から、長く歌い継がれてきた愛唱歌まで楽しむことのできる絶好の演奏会である。小林は洗練された日本語歌唱でも高い評価を受けているだけに、楽しみだ。

山田耕作編の古謡「さくらさくら」では、荘重なメロディーが繊細な声でよみがえる。続く「早春賦」「この道」は日本人の心をゆさぶる、郷愁をかき立てる名作である。中田喜直の「さくら横ちょう」では、若き日の淡い恋の思い出があでやかな桜とともに描かれるのが印象的だ。別宮貞雄の「さくら横ちょう」とはスタイルが少々異なるので、聞き比べてみたい。

「上を向いて歩こう」「川の流れるように」など、昭和から令和まで引き継がれてきた愛唱歌が聞けるのもうれしい。「上を向いて歩こう」は坂本九の大ヒット曲で、歌詞には春へのさりげない思いが込められている。

【ソプラノ】小林沙羅 【ピアノ】河野紘子

さくらさくら／この道／早春賦／おぼろづきよ／はる／夕鶴より／与ひよう、私の大事な与ひよう／すてきな春に／さくら横ちょう（中田喜直）／さくら横ちょう（別宮貞雄）／川の流れるように／上を向いて歩こう／見上げてごらん夜の星を／幻想曲「さくらさくら」 ほか

2021.3/20(土) 7:00PM

全席指定 4,400円（税込）

【お問合せ】ザ・シンフォニー チケットセンター
06-6453-2333

【主催】ザ・シンフォニーホール

先行予約:9/17(木) 一般発売:9/20(日)

(文 伊藤制子)

小林にはぜひオペラも歌ってほしいというファンが多いのではないだろうか。今回は團伊玖磨の古典的名作「夕鶴」より「与ひよう、私の大事な与ひよう」が取り上げられる。鶴の化身である女性「つう」と人間である与ひようの美しくも悲しい愛がテーマ。全曲中もっともよく知られたアリアだけに、迫真の歌唱に期待したい。

公演は19時開演で約2時間。以前のインタビューで「ザ・シンフォニーホールはとても歌いやすいホール」と語った小林による、美しきうたにどっぷり浸ったあとは、咲き初めの夜桜を見に、足をのばしてみるのも一興ではないだろうか。

美しき日本のうた

秋

2020.10/3(土)開催

ソプラノ:幸田浩子

Interview

“あの頃”の記憶が
愛おしく蘇る――

ザ・シンフォニーホールは
ふるさとのような場所

2016年開催以来、数多くの聴衆を集めてきた人気企画「美しき日本のうた」が、10月3日に「秋」と題して開催される。暑い夏が終わり、涼やかな風が吹き始める頃、私たちは本格的な秋の到来を待ち望む。秋といえば紅葉狩りが楽しい季節だ。関西の幾多の紅葉の名所には例年多くの人々が訪れ、冬の前のひとときをあでやかな色合いの自然とともに味わう。そんな季節にさきがけて行われる同公演に、人気と実力を兼ね備えた幸

田浩子が出演。

東京芸大出身でイタリアなどでも学んだ幸田は、ウィーン・フィルクスオーバーで長らく専属歌手として活躍してきた。国際舞台に数多く立つてきた彼女だが、日本の歌には格別の魅力があるという。

「子どもの頃、母が歌ってくれたうた、友だちと声合わせたうた、悲しいときに勇気をもらったうた、口ずさむと笑みが溢れるうた。美しく変化する日本の四季と、その自然に寄り添い、しなやかに生きる日本人の心を映す優しく、愛おしい、これからの歌い継がれてほしい作品たちだと思います」。

プログラムには、明治、大正、昭和を経て現在まで歌われてきた日本のうたが並んでいる。どのうたも心の琴線に触れる親しみやすい曲ばかりだ。「どのうたにも、特別な思いがあります。このプログラムの中で、聴いてくださる皆さまにとつての大切なうたに出会っていただけると信じています」。

幸田ならではの幅広いラインナップ。「ちいさい秋みつけた」「里の秋」といった季節感あふれるレパートリーに加えて、外国人歌手の来日公演でアンコールとして取り上げられることもある「初恋」といった繊細な名曲にも注目。「浜辺の歌」「椰子の実」など懐かしい愛唱歌も楽しみだが、「見上げてごらん夜の星を」と信じています」。

発売中

【ソプラノ】幸田浩子 【ピアノ】藤満 健

【第1部】
この道／かやの木の山／からたちの花／赤とんぼ／鐘が鳴ります／はらの花に心をこめて／ちいさい秋みつけた／里の秋／ひぐらし／花季／希望

【第2部】
浜辺の歌／椰子の実／浜千鳥／初恋／悲しくなったときは／このみち／波平（なみだ）／糸／見上げてごらん夜の星を

2020.10/3(土) 7:00PM

全席指定 4,400円（税込）

【お問合せ】ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

【主催】ザ・シンフォニーホール

(文 伊藤制子)

ん夜の星を」といったポピュラーな名曲は、確かな技巧と豊かな表現力を持つ幸田によってこのほか胸を打つものとなる。

「大阪出身のわたしにとつて、ザ・シンフォニーホールはふるさとのような場所です。初めて訪れたのは、小学生の時に、姉がソロを務めたメンデルスゾーンのヴァイオリンコンチエルトでした。キラキラした天井の壮大な空間と、とても親密にオーケストラの響きに包まれたことを覚えています」。

コロナで自粛生活が続く、幸田の歌を心待ちにしているファンも多いに違いない。「長くコンサートが開けない期間が続きました。皆さまと共鳴し、うたを、音楽を心に宿すその時間を、私自身心待ちにしています」。



©ワーナーミュージック・ジャパン

再起動 elegy

未来に向けて 横坂源 チェロ・リサイタル

中止を乗り越えて挑む待望のリサイタル
愛するチェロで光を奏でる

**全幅の信頼をおくホールで
最高の共演者を得て**

この3月、新型コロナウィルスの影響で中止となった「横坂源チェロ・リサイタル」が再企画されることが決まった。

「見た目も神様がチェロを弾いているみたい」とマイスキーに憧れた横坂少年は、4歳でチェロを始めた。チェロの毛利伯郎のレッスンを受けるため、小学校高学年からは故郷の新潟と東京を往復。それでも練習時間は、なんと1時間だけ!その練習時間は高校の頃まで続いたというから、驚きだ。

横坂がプロのオーケストラと初めて共演したのは、13歳(1999年)。東京交響楽団とサン＝サーンスのチェロ協奏曲を演奏した。

その後、高校入学直前に小澤征爾と共演するなど、将来を嘱望された。桐朋女子高校音楽科(男女共学)へ進学した彼は、コンサートで聴いたケラスの演奏に感動し、レッスンを受けて、後にケラスが指導していたシュトゥットガルト音楽大学へ留学した。

2010年、ミュンヘン国際コンクールで第2位を受賞。当時、シュトゥットガルト放送交響楽団アカデミーにも在籍していた彼は、期間限定で首席チェリストとして活躍した。帰国後は、楽器の町として知られる自然豊かな静岡・浜松に居を構えた。多忙なチェリストとして知られる彼であるが、地元のジュニア・オーケストラで指導し、小学校を訪れて演奏するなど、子どもたちへの育成にも力を注いでいる。

横坂は、これまでも三大協奏曲などオーケストラとの共演でザ・シンフォニー・ホール舞台に何度も登場している。「弦楽器にとって響きがとても良いのです」と、このホールの響きに全幅の信頼をおいている。

来年3月のプログラムは、中止になった今年と同じく、フォーレ《エレジー》とラフマニノフ《チェロ・ソナタ》を軸としている。リサイタルのタイトルにもなっている《エレジー》は、横坂が子どもの頃

[チェロ]横坂 源 [ピアノ]萩原麻未

J.S.バッハ:プレリュード ～無伴奏チェロ組曲 BWV1007 第1番より/カサド:親愛なる言葉/フォーレ:夢のあとに/フォーレ:エレジー op.24/ファリャ:火祭りの踊り/シューマン:アダージョとアレグロ op.70/ラフマニノフ:ヴォカリーズ op.34-14/ラフマニノフ:チェロ・ソナタ ト短調 op.19 ほかに

2021.3/27(土) 7:00PM
全席指定 3,300円(税込)

[お問合せ]ザ・シンフォニー チケットセンター
06-6453-2333

[主催]ザ・シンフォニーホール

先行予約:9/17(木) 一般発売:9/20(日)

(文 道下京子)

から好きだった曲。哀愁を帯びた音楽であるが、そのなかにしなやかな美しさを感じる。そして、ラフマニノフ《チェロ・ソナタ》は彼が精神の病から回復した後の作品。横坂いわく「暗闇を経て光を感じている最中に書かれた曲なのです」と。濃厚なリリシズムと雄弁なチェロの調べは、この作品の魅力だ。その他、前半のプログラムにはバッハからカサドにいたるまで、様々な性格の小品が並ぶ。

共演するピアニストは、ジュネーヴ国際コンクールの覇者、萩原麻未だ。二人はこれまで共演を重ねてきており、次世代を担う日本のトップ・アーティストの競演は待ち遠しい!ソロでは接することのできない新たな一面を、聴く者に示してくれるだろう。

富田一樹

(バッハ国際コンクール優勝)

バッハ名曲決定版 2021

-幻となった人気公演!!1年の時を経てついに実現-

Interview

J.S.バッハをこよなく愛する富田の手で
バッハ決定版ここに極まる!

**パイプが発する、生の歌声を
皆さんにお届けしたい**

2016年にドイツ・ライプツィヒで開かれたバッハ国際コンクールで優勝を果たした大阪出身の気鋭のオルガニスト、富田一樹が、音楽の父の響きの世界の真髄へ肉薄する《バッハ名曲決定版》。コロナウィルス禍を受け、中止となっていた注目公演が、2021年2月に開催されることが決まった。「こんな状況だからこそ、音楽を奏でる喜びを噛み締めたい」と富田。「1年越しであるが故に、感慨深い気持ち」と語る。

「新型コロナの影響で、半年以上もコンサートができなかった」という富田。「実際にパイプが発する、生の歌声を皆さんにお届けしたいのに、それが叶わない期間が、本当に辛かった。しかし、動画の配信の形で、様々な場所での収録の機会を多く頂いたのは有難かった。珍しく作曲のお仕事も頂き、合計10数曲を提供しました」と明かす。

この上で、「世の中がこんなにも大変な時期で、決して普段の通りではないにも関わらず、私は音楽に携わる事ができている。『自分は、なんて幸せ者なんだろうか』と感謝の気持ちでいっぱいです。音楽を奏でる事ができる喜びを、日々噛み締めています」と言う。

そんな富田が「毎日が楽しみ」と語るザ・シンフォニー・ホールでのコンサート。特に《バッハ名曲決定版》は「私が最も尊敬する作曲家・大バッハの作品を聴いて頂けるのは、無上の喜び。再挑戦の機会を頂けたのは、公演を待ち望む多くの皆さんからの声のおかげでしょう。そのご期待に応えるため、感謝の気持ちを持って演奏したい」と意気込む。

「バッハが20〜30代、つまりオルガニストや作曲家として、最も脂の乗った時期に書かれた作品の中から、厳選して構成した」というプログラム。「反復される低音主題の上に情熱的な音楽が展開され、後半はキリスト教における、三位一体を見事に表現したフーガが繰り広げられる」と富田が評する「バッサカリア ハ短調」が軸に。

そして、キャリア最初期に書かれたハ長調と、若い時期の作ながら40代まで手を入れ続けたイ短調、2つの「前奏曲とフーガ」を披露。さらに、「合唱曲として有名



[オルガン]富田一樹

前奏曲とフーガ イ短調 BWV543 / おお人よ、汝の罪の大いなるを嘆け BWV622 / 「マルチェッロのアダージョ」(オーボエ協奏曲より第2楽章) BWV974-2 / 前奏曲とフーガ ハ長調 BWV531 / トリオ ニ短調 BWV583 / 主よ、人の望みの喜びよ BWV147 / バッサカリア ハ短調 BWV582

2021.2/27(土) 7:00PM

※休憩なし、約60分間のコンサートです。

全席指定 2,200円(税込)

[お問合せ]ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[主催]ザ・シンフォニーホール

先行予約:9/17(木) 一般発売:9/20(日)

な『主よ、人の望みの喜びよ』や、感傷的な旋律を持つ『マルチェッロのアダージョ』といった、聴き馴染みのある作品もお楽しみ頂けます。

今回、富田が弾くのはもちろん、3段鍵盤とペダルに3732本のパイプを擁するスイス・クリーン社製の壮麗な銘器だ。「1年越しで、遂に念願だったオール・バッハの公演が実現します。幅広い音色を持つこの楽器で、J.S. バッハによる珠玉のオルガン作品をお楽しみ頂ける、贅沢な時間となりそうです。素晴らしい音を奏でるパイプたちと共に、皆さまのご来場を、心よりお待ち申し上げます。

(文 笹田和人)



京都出身医学と音楽を極める
規格外ヴァイオリニスト

ヴァイオリン:石上真由子



ロンドンボー
国際コンクールの覇者

ピアノ:田村 響



世界を舞台に活躍、
オペラ界を担う逸材

テノール:望月哲也

©FUKAYA Yoshinobu auraY2



京都出身卓越した音楽性で
世界の注目を集める俊英

ギター:松尾俊介

©Takanori Ishii



大阪拠点世界の登竜門を
突破した新星

ギター:猪居 謙

Vol.1 アルハンブラの思い出

猪居 謙×松尾俊介

Vol.2 月に寄す

松尾俊介×望月哲也

Vol.3 星は光りぬ

望月哲也×田村 響

Vol.4 ロマンズ

田村 響×石上真由子

音楽で繋ぐ“バトン”

少年時代から「東京の夏」に出演するなど注目を集め、ロンドン・ティボー国際コンクールで優勝。このコンサートでは、独奏でイタリア出身のスカラルッティのソナタやリスト「巡礼の年」第2年「イタリア」からの2曲も披露する。プッチーニのオペラ《トスカ》の「星は光りぬ」といったオペラの名曲をはじめ、ロッシニやドニゼッティ、ベッリーニでは、望月は透明感あふれる美しいベルカントの世界を聴かせてくれるに違いない。

そして第4回「ロマンズ」では、デビューCDが話題となったヴァイオリンの石上真由子が、ピアノの田村と19世紀のロマンティックな世界を紡ぎ上げる。石上は、高校時代に日本音楽コンクール第2位を受賞。音楽大学へ進学せず、京都府立医大に学び医師免許を取得。現在は、ソロ活動や長岡京室内アンサンブルなど関西を拠点に活動している。前半はブラームス、シューマン、そして彼の妻クララという恋物語を想起させるような曲目。後半はシューベルトのヴァイオリン作品のなかでも長大な《ファンタジー》を軸にしたプログラムだ。

次世代を担う本格派アーティストによるクオリティの高いコンサートとなるに違いない。

(文 道下京子)

未来の巨匠がつなぐ バトンリレーコンサート

緊急事態宣言による自粛期間中に流行した様々な“バトン”。

関西クラシック界が、楽器や演奏形式を越えて繋がり、

未来へと続いていくための“バトン”を、

ザ・シンフォニーホールが若手アーティストとともに発信していく—

全4回

次代を担う実力派アーティストが
関西音楽界を元気つける！

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、アーティストは演奏の場を次々と失うというかつてない状況に見舞われた。少しずつ活動を再開し始めているものの、ソーシャルディスタンスのものでの演奏活動は、決して容易ではない。

美しい響きで世界的にも知られるザ・シンフォニーホールは、ホールが地域に果たす役割とともに、関西の音楽界を元気づけたという思いから、新シリーズ「未来の巨匠がつなぐバトンリレーコンサート」を開催する。2020年12月から3月まで、月1回ごとに将来を嘱望されている関西ゆかりの実力派アーティストが出演するコンサート。アーティストは次のコンサートにも連続して出演し、音楽のバトンをつないでゆく。

第1回「アルハンブラの思い出」は、クラシックギターの福田進一門下の二人組、松尾俊介と猪居謙によるギター・デュオ。松尾は京都出身でパリ国立高等音楽院卒業、話題の新進アーティストが出演する東京オペラシティ「B↓C」シリーズにも選ばれた。また、大阪を拠点とする猪居はドイツのワイマール音楽大学に学んだ気鋭。今年惜しまれつつこの世を去った映画音楽の巨匠モリコーネ

の《ニュー・シネマ・パラダイス》といった映画音楽をはじめ、ポピュラー、さらにはこのコンサートのテーマでもあるタレガ《アルハンブラの思い出》などを交えた親しみやすい作品が並ぶ。二人が織りなす美しい響きもさることながら、それぞれのソロも聴くことができる。

ギター伴奏のシューベルト歌曲
新鮮な組み合わせも醍醐味

第2回「月に寄す」では、テノールの望月哲也とギターの松尾がオール・シューベルト・プログラムに挑む。望月は、最近まで大阪音楽大学で後進の指導にたずさわわり、多くの歌手を育て上げてきた。若い頃から小澤征爾にも認められ、日本のオペラ界を担うひとりだ。《魔王》や《野ばら》といったよく知られた作品から、《白鳥の歌》の全曲歌唱など、シューベルトの比類ないリートの世界を存分に堪能させてくれるだろう。ギターはシューベルトの時代にも愛好されていた楽器で、彼の音楽にもその響きがとり入れられている。ピアノ伴奏とは一味違った調べに、静かに耳を傾けていたきたい。

Vol.1 アルハンブラの思い出

[ギター]猪居 謙、松尾俊介

2020.12/13(日) 2:00PM

伝ルビラ(サグレラス編):愛のロマンス 映画『禁じられた遊び』のテーマ/タレガ(タラゴ編):アルハンブラの思い出/モリコーネ(鈴木大介編):ニュー・シネマ・パラダイス/ロッシニ(M.ジュリアーニ編):オペラ『泥棒かざさぎ』序曲/ファリャ:粉屋の踊り〜バレエ音楽『三角帽子』より/菅野祐悟:幸福の硬貨〜映画『マチネの終わりに』より(猪居 謙ソロ)/モノー(ディアンズ編):愛の賛歌(松尾俊介ソロ)/ロドリゴ:トナディーリヤ ほか

Vol.3 星は光りぬ

[テノール]望月哲也 [ピアノ]田村 響

2021.2/25(木) 7:00PM

ロッシニ:踊り/スカラルッティ:ソナタ K.9/L413 ★、K.11/L352 ★、K.380/L23 ★/ドニゼッティ:オペラ『愛の妙薬』より 「人知れぬ涙」/ベッリーニ:6つの歌曲/リスト:巡礼の年第2年イタリアより 第2番「物思いに沈む人」★、第5番「ペトルカのカのソネット 第104番」★/プッチーニ:オペラ『トスカ』より 「妙なる調和」、「星は光りぬ」/プッチーニ:オペラ『トゥーランドット』より 「だれも寝てはならぬ」 ほか
★ピアノソロ

Vol.4 ロマンズ

[ピアノ]田村 響 [ヴァイオリン]石上真由子

2021.3/15(月) 7:00PM

ブラームス:メロディのように/クララ・シューマン:3つのロマンス op.22/シューマン(リスト編曲):献呈 ★/パガニーニ:24の奇想曲より カプリース第1番/シューベルト:アヴェ・マリア、即興曲 op.142-2 ★、幻想曲/シューマン:幻想曲
★ピアノソロ

Vol.2 月に寄す

[ギター]松尾俊介 [テノール]望月哲也

2021.1/24(日) 2:00PM

シューベルト(松尾俊介編):月に寄す D 193/シューベルト(ラゴスニック編):羊飼いの嘆きの歌 D 121/シューベルト(ラゴスニック編):野ばら D 257/シューベルト(ディアベッリ編):魔王 D 328/シューベルト(松尾俊介編):白鳥の歌(全曲) D 957

[各日] 4,000円(全席指定・税込) [4公演通し券]限定50席スペシャルシート 16,000円(全席指定・税込)

※通し券は、ザ・シンフォニー チケットセンターで、お電話のみでのお取り扱いとなります。

[お問合せ]ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333 [主催]ザ・シンフォニーホール

先行予約:9/17(木) 一般発売:9/20(日)

“讃”平和を讃えて 広島交響楽団 第405回プレミアム定期演奏会 大阪公演

下野、広島交響楽団、そして巨匠オピッツ
彼らしか成し得ない新地平の音楽

[指揮] 下野竜也 [ピアノ] ゲルハルト・オピッツ
[管弦楽] 広島交響楽団

発売中

ベートーヴェン:ピアノ協奏曲 第5番 変ホ長調 op.73「皇帝」(ベートーヴェン・コンチェルト・シリーズ)/ブルックナー:交響曲 第4番 変ホ長調「ロマンティック」(ハース版)

2020.11/15(日) 2:00PM

全席指定 5,500円 (税込)

[お問合せ] ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[主催] 公益社団法人 広島交響楽協会 / ザ・シンフォニーホール



広島に原爆が投下されてから75年目の2020年。そんな節目の秋に、被災地で中国地方の雄として君臨し続ける広島交響楽団が、3年ぶりにザ・シンフォニーホール公演を行う。指揮は、同響の音楽総監督・下野竜也。今シーズンの広響は、彼の統率の下で「讃平和を讃えて」をテーマに活動しており、持ち前の温かいサウンドを充実させつつ、平和の象徴としての存在感をますます高めている。

また今回はプレミアムコンサートということで、ソリストも特別。ドイツ正統派の巨匠ゲルハルト・オピッツ(レ)を迎え、ピアノ協奏曲の王道「ベートーヴェンの第5番「皇帝」」を披露する。彼は18年にザ・シンフォニーホールのピアノ(スタインウェイ)を選定するなど、かねてから深い関係。演奏者、楽器、作品、音響のいずれもが最高の状態にある中で、彼の選んだピアノがいかに素晴らしかったかを改めて知らしめてくれることだろう。

そして後半は、下野&広響が毎年1曲ずつ取り組んでいる長大なブルックナーの交響曲より第4番「ロマンティック」を。演奏時間が短めで親しみやすい曲想なので、入門にもぴったりの傑作だ。下野は作曲者が生きたウィーンで学び、過去にも本作を度々指揮して高い評価を獲得し続けてきた。今回はそこに平和への祈りも込めることで、下野と広響にしか成し得ない「ロマンティック」の新地平が示される!!

(文 渡辺謙太郎)

荒庸子 チェロ・リサイタル 2021 珠玉のシネマ名曲SELECTION VOL.7 モリコーネに思いをよせてー

映画音楽を愛する荒のモリコーネ追悼
温かいチェロの音で聴くロマン溢れる名曲群

[チェロ] 荒庸子 [ピアノ] 山田武彦

モリコーネ:『ニュー・シネマ・パラダイス』より「愛のテーマ」、『海の上のピアニスト』より「愛を奏でて」、『ミッション』より「ガブリエルのオーボエ」、『ワンス・アポン・ア・タイム・イン・アメリカ』よりテーマ曲、『アンタッチャブル』よりテーマ曲、『マレーナ』よりテーマ曲/パラダイス:シシリアーノ/シューマン:『子供の情景』より「トロイメライ」/サン＝サーンス:白鳥/ブルッフ:ホル・ニドライ

2021.2/12(金) 7:00PM

全席指定 4,400円 (税込)

[お問合せ] ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[主催] ザ・シンフォニーホール

先行予約: 9/17(木)
一般発売: 9/20(日)



名チェリリスト・荒庸子が贈る早春恒例の人気シリーズ「珠玉のシネマ名曲SELECTION」も早いもので7回目の開催。彼女が昔から愛してやまない映画の名曲(オードリー・ヘップバーンやチャップリンの名作、ミュージカル映画など)とクラシックを巧みに組み合わせることで、各々の音楽ファンがコア部分を楽しみながら他ジャンルにも触れられるのが大きな魅力になっている。

今回のリサイタルでスポットライトをあてるのは、今年7月に91歳で逝去したイタリアの巨匠エンニオ・モリコーネの至高の映画音楽。荒が追悼の祈りを捧げながら奏でるに違いない『ニュー・シネマ・パラダイス』より「愛のテーマ」や、『海の上のピアニスト』より「愛を奏でて」などの名曲は過去にも当シリーズで取り上げられてきたが、今回はひとしおの美しさと感慨を湛えて聴き手の耳と心に届くことだろう。

そして、これらの作品とタッグを組むのが、ブルッフ「ホル・ニドライ」、シューマン「トロイメライ」、サン＝サーンス「白鳥」といった本格的なクラシック音楽。ユダヤ教の聖歌を基にした「ホル・ニドライ」をはじめ、いずれも郷愁とロマンに満ちた傑作なので、モリコーネの作風との相性も抜群。また今回は、編曲作品が多数演奏されるので、温かく深みのあるチェロの音色との相性の良さもぜひ再確認して欲しい!

(文 渡辺謙太郎)

古澤 巖×TAIRIK バロックX'MAS

バロックの時代を生きた名器で
珠玉の名曲を奏でる

[ヴァイオリン] 古澤 巖 [ヴィオラ] TAIRIK [アンサンブル] I baracchi

ヴィヴァルディ:四季/ピアノソナタ:プエノスアイレスの四季/ヘンデル:パッサカリア ほか

2020.12/10(木) 2:00PM

S 6,000円 A 5,000円 (税込)

[ご予約] ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[お問合せ] キョードーインフォメーション 0570-200-888

[主催] NHKエンタープライズ中部/ザ・シンフォニーホール

先行予約: 9/17(木) 一般発売: 10/3(土)



恒例となっている、ヴァイオリン界の鬼才・古澤 巖によるクリスマスコンサート。今年は、我が国の楽壇の未来を担う、実力派奏者たちとのコラボレートと、新たな展開に。ヴィヴァルディとピアノソナタによる2つの「四季」の聴き比べなど、クラシック音楽のルーツとも言えるべきバロックの名旋律を軸に据えて、魅力的な音のプレゼントをお届けしてくれる。

1979年に日本音楽コンクールを制し、カーチス音楽院やモーツァルテウム音楽院に学んで、ナタン・ミルシテインら巨匠の薫陶を受けた古澤。東京都響ソロ・コンサートマスターを経てソリストに転身し、民俗音楽やジャズなども弾きこなし、クラシックという枠組みを遥かに超越した、しなやかな演奏活動を続けている。恒例のクリスマスコンサートでは、これまで、「ベルリン・フィルハーモニー・ヴィルトウオージ」と快演を綴ってきた。

今回は人気ユニット「TSUKEMEN」のリーダーを務めるTAIRIKがヴィオラ奏者として登場。若きチェロの名手・武澤秀平が音楽監督を務める精鋭アンサンブル「I baracchi」も共演する。まずは古澤が紡ぐ1718年製ストラディヴァリウス「サン・ロレンツォ」の艶やかな音色で、ヴィヴァルディ「四季」とピアノソナタ「プエノスアイレスの四季」を併せて堪能。さらに、ヘンデル「パッサカリア」ほか、バロック時代の珠玉の佳品の数々をたっぷり味わう。

(文 笹田和人)

東京佼成ウインドオーケストラ 第5回大阪定期演奏会

日本を代表するウインドオーケストラが
60周年記念の新作を初演!!

[指揮] 大井剛史

[吹奏楽] 東京佼成ウインドオーケストラ

発売中

G.ホルスト:吹奏楽のための第一組曲/芳賀 傑:水面に映るグラデーションの空/P.グレインジャー(F.フェネル 校訂):リンカンシャーの花束/保科 洋:吹奏楽のための交響曲 第3番(TKWO委嘱新作)

2020.11/8(日) 3:00PM

S 5,000円 A 4,000円 B 3,000円 (税込)

[お問合せ] 東京佼成ウインドオーケストラ事務局 03-5341-1155

[主催] 佼成文化協会 東京佼成ウインドオーケストラ/ザ・シンフォニーホール



今年結成60周年の名門・東京佼成ウインドオーケストラ(TKWO)が、2020年も芸術の秋に登場する。指揮台に立つのは、TKWO正指揮者の大井剛史。作曲者の意図の忠実な再現を目指す解釈で知られ、今回取り上げる4曲の演奏にも注目が集まる。

まずは、組曲「惑星」の作者としておなじみ、イギリスのホルストによる「吹奏楽のための第一組曲」。TKWO桂冠指揮者フレデリック・フェネルが繰り返し取り上げることでクラシックの名曲と同格の地位を得た経緯があり、約30年前に高校生の吹奏楽部員だった大井も実演に接して感動した思い出の作品だという。吹奏楽のあらゆる要素が詰まっているので、対位法や変奏などの基本に、大井&TKWOが自分たちの色をどう出すか楽しみだ。

他にも、やはりTKWOの十八番で、オーストラリアのグレインジャーが変拍子や装飾音を駆使した意欲作「リンカンシャーの花束」。15年のフランス・パリ同時多発テロ事件の犠牲者に捧げられた芳賀傑「水面に映るグラデーションの空」など、聴きどころ多数の当公演。

だがメインはやはり、今年84歳の保科洋が当公演のために書き下ろす交響曲第3番だろう。4年前の80歳記念に初演された交響曲第2番でも全開だった勇壮で推進力のある、保科節がいかなる深みと威容をもって現れるか、くればれもお聴き逃しなく!!

(文 渡辺謙太郎)

石田泰尚 ヴァイオリン・リサイタル 2020

横浜が生んだカリスマ・ヴァイオリニスト
7ヶ月の延期を経て、いよいよ来阪!

[ヴァイオリン] 石田泰尚 [ピアノ] 山中惇史

ドヴォルザーク: ヴァイオリンとピアノのためのソナチネ ト長調 op.100 B.183 / フランク: ヴァイオリン・ソナタ FWV8 M8 イ長調 / クライスラー: テンポ・ディ・メヌエット、シンコペーション、ウィーンの小さな行進曲 / ピアソラ: アディオス・ノニーノ、フラカナーバ、天使のミロンガ、現代のコンサート、ル・グラン・タンゴ

2021.1/15(金) 7:00PM [2020.6/13の振替公演]
全席指定 3,300円 (税込)
[お問合せ] テレビマンユニオン音楽事業部 03-6418-8617
[主催] テレビマンユニオン / ザ・シンフォニーホール

発売中



硬派ヴァイオリニスト、石田泰尚がザ・シンフォニーホールに登場する。2001年、22歳の若さで神奈川フィルのソロ・コンサートマスターに就任。以来20年にわたり同楽団を牽引する存在である。それだけでも実力のほどはうかがい知れるが、近年ソロにおいて聴かせる多彩な音楽性もクラシックシーンの内外から熱い注目を集めている。

自らプロデュースした男性ばかりの「硬派」弦楽アンサンブル「石田組」では、古典の色濃いレスピーギの『リユーロのための古風な舞曲とアリア』からレッド・ツェッペリンの『カシミール』といったロックナンバーまでを採り上げつつ、端正な中に情熱溢れる演奏を聴かせ、アストル・ピアソラを追求した「トリオ・リベルタ」やバンドネオンの三浦一馬キントート（五重奏団）では、沸き立つリズムと陰影豊かな音色で聴く者を魅了するといった具合。モーツァルトやブラームスといった王道への探求も怠りない。硬派・石田はさまざまな心の機微を音に託すことのできるのだ。信頼厚い山中惇史のピアノを得て前半にはドヴォルザークとフランクが、後半にはクライスラーと愛して止まないピアソラのナンバーが並ぶ今回は、まさに石田の挨拶代わりとも言えそうなプログラム。音楽上等、横浜（ハマ）のカリスマ、満を持しての関西登場である。

(文 逢坂聖也)

オペラ・ラティーナ コロンえりか ソプラノ・リサイタル 2020

アヴェ・マリアからラテンまで
ボーダーを越える歌手が登場!

[ソプラノ] コロンえりか
[ピアノ] 山田武彦

グノー: アヴェ・マリア / コロン: 被爆のマリアにささげる讃歌 / サティ: ジュ・トゥ・ヴー / エルネスト・レクオーナ: マリアアラ・オー / メネヒルダ: タンゴ「グランヴィーア」より / ドリープ: カディスの娘たち ほか

2021.2/13(土) 7:00PM [2020.6/6の振替公演]
全席指定 3,300円 (税込)
[お問合せ] テレビマンユニオン音楽事業部 03-6418-8617
[主催] テレビマンユニオン / ザ・シンフォニーホール

発売中



コロンえりかは様々な顔を持つ異色のソプラノだ。ベネズエラで、ベルギー出身の作曲家エリック・コロンの日本人の母の間に生まれ、10歳で来日。多国籍なルーツを持つ。

透明感のある声と、エキゾチックな美しい姿が印象的。英国王立音楽院で学び、名門ウィグモアホールでデビューしてから、ヨーロッパ各地のオペラやオラトリオの舞台を経験した。幼少から音楽が身近にあり、2019年の東京国際音楽コンクールでグラプリ部門、歌曲部門を制すなど、その実力は折り紙つきながら、かつては教育の道に進んだこともある。歌手となつてからも、東日本大震災被災地の子どもへの支援をするエル・システマジャパンや、視覚・聴覚障がいのある子どもたちのための東京ホワイトランドコーラスの立ち上げにも携わり、教育者としての側面が垣間見られる。歌手活動以外にも忙しく活動する彼女だが、家に帰れば4児の母という顔まで持つ。

リサイタルでは、父エリックが作曲した「被爆のマリアにささげる讃歌」も披露する。長崎の浦上天主堂を見た娘と、幼少期にナチス侵略を経験した父の、平和を希求する思いの結晶であり、現代の「アヴェ・マリア」と言える曲だ。

本公演でザ・シンフォニーホール初登場となるコロン。彼女の清らかな愛と平和の祈りの歌が、残響2秒の空間でどう響くのか。今から楽しみだ。

ソプラノ・コロンえりか

日本センチュリー交響楽団 ハイドンマラソンHM.22 「ハイドンセットの時代からバリ交響曲へ」

名声を広めていくハイドン
パリで愛された個性豊かな交響曲

[指揮] 飯森範親 [管弦楽] 日本センチュリー交響楽団

ハイドン: 歌劇「薬劑師」 Hob.Ia:10より序曲 / ハイドン: 交響曲 第75番 二長調 Hob.I:75 / ハイドン: 交響曲 第79番 へ長調 Hob.I:79 / ハイドン: 交響曲 第83番 ト短調 Hob.I:83 「めんどり」

2021.2/19(金) 7:00PM
A 5,000円 B 4,000円 (税込)
[お問合せ] センチュリー・チケットサービス 06-6848-3311
[主催] 公益財団法人日本センチュリー交響楽団 / ザ・シンフォニーホール
先行予約: 9/17(木) 一般発売: 9/23(水)



今シーズン最後のハイドンマラソンHM.22は「ハイドンセットの時代からバリ交響曲へ」。ハイドンの人生が透けて見えるようなプログラムも、このシリーズの面白さだ。

特集タイトルの「ハイドンセット」(1785)とはモーツァルトが作曲した弦楽四重奏曲集の傑作。6曲がまとめてハイドンに献呈されたことからこの名で呼ばれるが、そもその作曲の動機はモーツァルトがハイドンの「ロシア四重奏曲」(1782)を聴いてその素晴らしさに感動したことにあるのだ。モーツァルトは2年以上をかけてこの6曲を作曲、ハイドンに捧げたのである。今回演奏される交響曲 第75番、第79番はこうした時代を背景としたハイドンの充実を伝えるものだ。

そして1785年から86年の一連の「パリ交響曲」の作曲は、ハイドンにとつてひとつの転機となった。パリのオーケストラ、コンセル・ド・ラ・ロージュ・オランピックの依頼で書かれたこれらの作品は、ハイドンがエステル・ハージ家へ就職後、初めて当家以外のために書いた交響曲なのである。第83番「めんどり」の劇的で芳醇な響きの中に何とも言えないユーモラスな音型が顔をのぞかせるあたりは、まさに彼の真骨頂。かくしてハイドンの人気はフランスでも決定的なものとなる。ハイドンマラソンHM.22はハイドンが大きな飛躍を遂げる時期の作品を集めた、魅力たっぷりの演奏会なのである。

(文 逢坂聖也)

〈名曲シリーズ〉大阪フィル×ザ・シンフォニーホール ソワレ・シンフォニー Vol.15&Vol.16

Vol.16 2020.11/5(木) 7:00PM

[指揮] 角田鋼亮 [ヴァイオリン] 前橋汀子

[オルガン] 富田一樹 [管弦楽] 大阪フィルハーモニー交響楽団
サラサーテ: ツィゴイネルワイゼン / マスネ: タイスの瞑想曲 / サン＝サーンス: 歌劇「サムソンとデリラ」より「バツカナル」、序奏とロンド・カプリチオーソ、交響曲 第3番 八短調 op.78「オルガン付」

Vol.15 2021.3/9(火) 7:00PM [2020.5/29の振替公演]

再発売: 10/7(水) ※大阪フィル・チケットセンターは10/6(火)より再発売

[指揮] 大友直人 [チェロ] 宮田大 [管弦楽] 大阪フィルハーモニー交響楽団
ドヴォルザーク: チェロ協奏曲 口短調 op.104 / ベートーヴェン: 交響曲 第6番 へ長調 op.68「田園」

各公演 A 5,100円 B 3,100円 (税込)
[お問合せ] 大阪フィル・チケットセンター 06-6656-4890
[主催] 公益社団法人大阪フィルハーモニー協会 / ザ・シンフォニーホール

Vol.16は前橋汀子が初登場!
大友&宮田の強力タッグで贈るVol.15



珠玉の名曲を一気に味わえる大好評のシリーズ《ソワレ・シンフォニー》。16回目は、大阪フィルの指揮者の角田鋼亮が指揮を振る。2017年に旭日小綬章を受章した前橋汀子を迎え、名曲中の名曲を極み抜かれたヴァイオリンの響きで味わえる。サン＝サーンスの交響曲では、16年バツハ国際コンクールのオルガン部門で日本人初の1位に輝いた富田一樹が登場。富田の音色は、毎回オルガンの新しい魅力を感じさせ、大阪フィルとの融合は未知なる世界に連れて行ってくれるはずだ。

延期となった15回目は、大友直人が指揮台に上がる。チェリストの宮田大が、ドヴォルザーク「チェロ協奏曲」のソリストを務め、締めくくりはベートーヴェン「田園」を演奏する。今こそベートーヴェンの不屈の精神に向き合いたい。

(文 金子真由)

Concert Information

振替公演のご案内

新型コロナウイルス感染症の影響で、
延期・中止となっているコンサートがございます。ここでは、
振替公演日が決定している公演をご紹介します。

※このページに記載されている情報は、8月24日時点のものです。今後の状況により更なる延期や中止になる可能性もございますので、最新情報はザ・シンフォニーホールのWEBサイトをご注視頂きますよう、お願い申し上げます。

●大阪市民管弦楽団 創立50周年記念 第91回定期演奏会

2020.11/14(土) 6:00PM
※4月25日(土)の振替公演
【お問合せ】大阪市民管弦楽団 090-9050-6199

●東海大学付属大阪仰星高等学校吹奏楽部 第31回定期演奏会

2020.12/24(木) 1:00PM / 6:00PM
※5月6日(水・休)の振替公演
【お問合せ】東海大学付属大阪仰星高等学校 072-849-7211

●チョ・ソンジン ピアノ・リサイタル 2015年 第17回ショパン国際ピアノ・コンクール 第1位受賞

2020.12/29(火) 2:00PM
※5月24日(日)の振替公演
【お問合せ】ABCチケットインフォメーション 06-6453-6000

●〈名曲シリーズ〉平日午後の名曲セレクション マチネ・シンフォニー Vol.23

2021.1/14(木) 2:00PM
※6月10日(水)の振替公演
【お問合せ】大阪フィル・チケットセンター 06-6656-4890

●石田泰尚 ヴァイオリン・リサイタル 2020

2021.1/15(金) 7:00PM ※6月13日(土)の振替公演
【お問合せ】テレビマンユニオン 音楽事業部 03-6418-8617
詳細はP21をご覧ください。

●オペラ・ラティーナ コロンネリカ ソプラノ・リサイタル 2020

2021.2/13(土) 7:00PM ※6月6日(土)の振替公演
【お問合せ】テレビマンユニオン 音楽事業部 03-6418-8617
詳細はP21をご覧ください。

●大阪交響楽団第239回定期演奏会

2021.2/18(木) 7:00PM
※5月15日(金)の振替公演
【お問合せ】大阪交響楽団 072-226-5522

●〈名曲シリーズ〉大阪フィル×ザ・シンフォニーホール ソワレ・シンフォニー Vol.15

2021.3/9(火) 7:00PM ※5月29日(金)の振替公演
【お問合せ】大阪フィル・チケットセンター 06-6656-4890
詳細はP20をご覧ください。

●大阪交響楽団 第111回名曲コンサート

2021.3/10(水) 1:30PM / 5:00PM
※5月9日(土)の振替公演
【お問合せ】大阪交響楽団 072-226-5522

●関西フィルハーモニー管弦楽団 三大テノールの宴

2021.3/31(水) 7:00PM
※6月17日(水)の振替公演
【お問合せ】関西フィルハーモニー管弦楽団 06-6577-1381

●大阪シンフォニック クワイア

2021.4/4(日) 2:30PM ※9月10日(木)の振替公演
【お問合せ】大阪シンフォニック クワイア
御池(みいけ) 072-854-1486 / 岡副(おかぞえ) 090-9110-2591

●大阪交響楽団 第112回名曲コンサート

2021.4/28(水) 1:30PM / 5:00PM
※8月1日(土)の振替公演
【お問合せ】大阪交響楽団 072-226-5522

●未来へつなぐ「集」コンサート2020

2021.5/3(月・祝) 3:00PM
※5月5日(火・祝)の振替公演
【お問合せ】関西音楽人のちから「集」 info@tsudo2011.com

毎公演完売の
人気シリーズ

今年は昼夜2回開催!

ザ・シンフォニーホール クリスマス オルガンコンサート 2020

【オルガン】富田一樹

J.S.バッハ:ピエスドルグ ト長調 BWV572 / ボエルマン:ノートルダムへの祈り / J.クラーク:トランペット・ヴォランタリー / カッチーニ:アヴェ・マリア / バッハ=グノー:アヴェ・マリア / シューベルト:アヴェ・マリア / J.S.バッハ:我が魂は主をあがめ BWV733 / J.S.バッハ:G線上のアリア BWV1068-2 / J.S.バッハ:前奏曲とフーガ ハ長調 BWV547

2020.12/5(土) 2:00PM / 7:00PM

※休憩なし。約60分間のコンサートです

全席指定 2,200円 (税込)

【お問合せ】ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

【主催】ザ・シンフォニーホール

発売中



開館当初より、ザ・シンフォニーホールの象徴として知られてきたパイプオルガン。そのダイナミックな音色を、街が華や季節に味わってみませんか。

「アヴェ・マリア」や「ノートルダムへの祈り」などクリスマスにぴったりの名曲揃い。「友だちに誘われて初めて来てみたら、すっかりハマってしまった」とも言われるほど、クラシック音楽の入門編としてもおすすめの公演です。